

平成19年度 関東高等学校女子バスケットボール大会

平成19年6月9日(土)

【女子】準々決勝 鐘山スポーツセンター総合体育館 Dコート 第6試合

千葉経済大学附属(千葉)	72	$\left. \begin{array}{l} 23 - 12 \\ 16 - 21 \\ 17 - 14 \\ 16 - 16 \end{array} \right\} 63$	相洋(神奈川)
--------------	----	--	---------

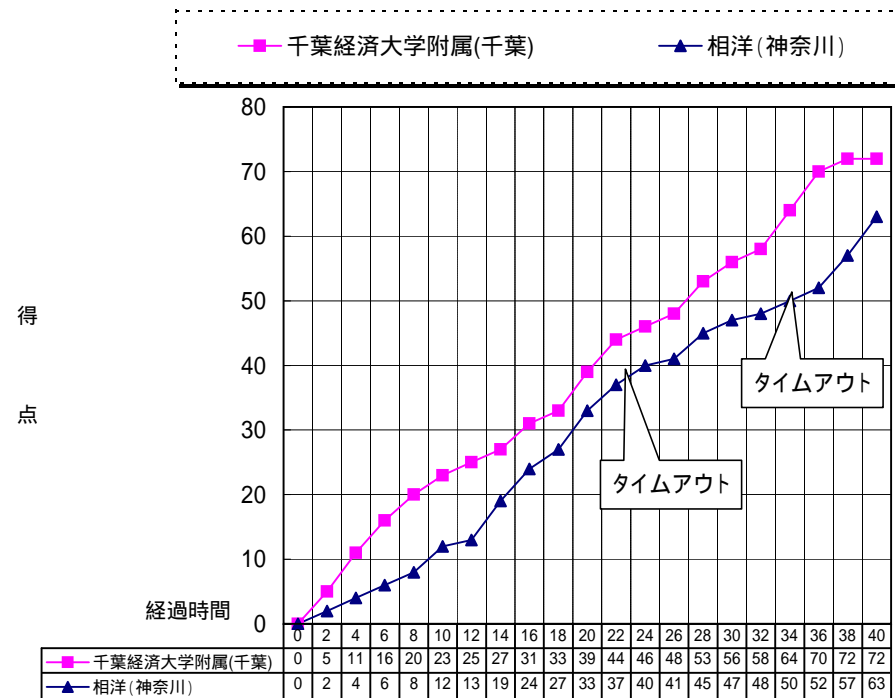
千葉経済大学附属(千葉)		コーチ		池端直樹												
番号	氏名	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターン
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		DF	OF	計				
4*	秋原 遼	12	2	3	3	4	0	0	2	0	0	0	0	1	0	2
5*	古田 有樹子	15	0	0	3	6	9	10	2	6	8	14	0	0	0	2
6	長島 美雪	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
7*	中村 五百香	4	0	0	1	2	2	2	1	1	0	1	1	2	0	1
8	瀬戸 静華															
9*	土屋 霞	2	0	0	1	5	0	0	5	5	2	7	2	4	2	1
10	平山 結花															
11	小出 愛弓	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1
12*	磯谷 未来	27	2	6	6	15	9	17	4	6	2	8	2	3	0	5
13	菊崎 祥子	4	0	2	2	5	0	0	1	1	0	1	0	0	0	2
14	小島 彩															
15	御藤 伶奈	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
16	正井 妙貴子															
17	古村 紗耶															
18	丸 千佳乃	8	0	0	3	5	2	2	1	1	2	3	0	0	0	0
チーム		0								0	6	6				0
合計		72	4	11	19	42	22	33	18	21	20	41	5	10	2	16

*:スターティングメンバー 確率 36.4% 45.2% 66.7%

相洋(神奈川)		コーチ		関森宏悦												
番号	氏名	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターン
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		DF	OF	計				
4*	真田 麻有	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	2	2	0	0
5*	織田 瑠美	6	0	1	2	9	2	2	3	0	1	1	3	0	0	2
6*	芳賀 千奈津	2	0	0	1	5	0	0	1	2	0	2	0	1	0	1
7*	吉田 真弓	2	0	1	0	4	2	4	4	3	3	6	1	0	1	1
8	小澤 咲子															
9	水野 祐子	2	0	3	0	1	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0
10	澤野 未和	17	2	2	3	13	5	8	3	12	3	15	0	3	2	2
11	高橋 郁子	1	0	1	0	3	1	2	0	1	0	1	2	1	0	3
12	小倉 志保															
13	角田 友理恵															
14	北村 真理	9	0	0	3	10	3	6	2	3	5	8	0	1	0	6
15	吉野 沙友															
16*	松村 友実	20	0	0	9	16	2	4	4	5	2	7	0	0	4	2
17	勝俣 英里	4	0	1	2	5	0	0	2	0	0	0	1	0	1	0
18	大瀧 あかね	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1
チーム		0								0	3	3				2
合計		63	2	10	20	68	17	28	22	26	18	44	9	9	8	20

*:スターティングメンバー 確率 20.0% 29.4% 60.7%

2分毎による得点の推移



戦評

1Q互いにハーフコートマンツーマンでスタート。千葉経済は 磯谷のアウトサイドからと 古田のインサイドからの力強いプレイに周りが合わせながら得点を重ねる。対する相洋は 松村のゴール付近のプレイと 澤野のジャンプシュートで得点を重ねる。千葉経済のディフェンスに対し相洋の得点が止まり、23-12と千葉経済がリードで終了。2Qの出足は同じ流れであったが相洋が外角から積極的にドライブインを仕掛け 松村がゴール下へ合わせるプレイをきっかけに流れは相洋に傾き、7分過ぎには27-31と4点差まで詰め寄るが千葉経済は踏ん張り39-30と再び点差をつける。残り11.2秒、相洋ゴールでエンドからのスローインの後、相洋 澤野が放った3Pが決まり、39-33と千葉経済が折り返す。3Qに入り相洋が得点すると千葉経済が得点するという一進一退の攻防が続く。途中出場した千葉経済 丸のゴール周辺の得点などで千葉経済が56-47とリードを9点に広げて終了した。4Q開始4分間でフリースロー1得点の相洋に対して、千葉経済は 古田 丸のゴール下でのシュートと、菊崎のミドルシュートなどで64-49とリードを広げる。相洋は得点を詰めようと 水野のフリースローや 松村のゴール下のプレイで得点するが、千葉経済はオフェンスリバウンドを頭張り得点を重ね残り4分で70-52と18点差まで広げる。残り3分相洋はオールコートプレスにて 北村 澤野などの連続ゴールで差を縮めるが72-63で千葉経済が勝利した。

主審 伊藤 裕一 (埼玉)

副審 齊藤 和夫 (山梨)

記入者 古田 厚司 (高体連)